
HAPPY HERO

こうこ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

H A P P Y H E R O

【Nコード】

N 4 8 7 2 P

【作者名】

こうこ

【あらすじ】

お金持ち学校への入学の条件は…成績優秀、品行方正、卒業まで何一つ問題を起こさない優等生であること。
喧嘩っ早く中学時代問題ばかり起こしていた千紗は無事卒業できるのだろうか。

体育館倉庫の壁際まで追い詰められ、千紗はとっさに目を臥せた。

ばしゃ

顔に冷たい水がかかり、雫が色素の薄い髪を伝う。

「やった！私の勝ち」

弾んだ高い声が笑いながら言う。

「ああゝ負けたっ」

「くそー」

水の入ったバケツを持ちながら、後から3人が追いついてきた。

「もう一回勝負しよ?!」

「いや！約束通りシルキイのケーキだからね」

「はあ…だいたいさ」

ぐるり、千紗は4人に取り囲まれる。混ざりあった強い香水の香りに少し眉を潜めた。

「あんたがこっちに逃げてこなきゃなあ」

ばしゃ

ばしゃ

バケツの水を胸、スカート、そして再び顔に浴びせられた。

「いこいこ。」

「ここ片しといてね！ビンボー人」

きやははと甲高い笑いをだし、大声で喋りながら4人は去って行った。

「……」

4人が去ったその場所は静まり返り、誰の気配もしない。千紗は俯き肩を震わせる。ぐっと拳を握りしめた。

「……くつくく……」

グシャッ

足元に転がったバケツを踏み付ける。ブリキで作られたそれはもちろんそれなりの強度がある。

が、それが、いとも簡単に、ひしゃげた。

「くつくあっはっは」

先程の追い詰められ、うしひしがれた様子は消えうせる。顔は笑っているが目に怒りがみなぎっていた。

「ケーキのために人追っかけたってのね。あいつら」

ベキッ

ひしゃげたバケツを握り潰す。

「いつか絶対ぶっとばす」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4872p/>

H A P P Y H E R O

2010年12月15日09時43分発行